

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川、井谷、西、大石

以上4名

2 山城・ルート 中央アルプス(宝剣岳～空木岳縦走)

3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

入山日 2014年4月19日 下山日 2014年4月20日

・4月18日(金) 井谷車→20:30 大川邸出発→20:40 西邸→21:00 大石邸→名神、中央道経由→翌25:00 駒ヶ岳SA 仮眠(4時間30分)

・4月19日(土) 6:00 起床 駒ヶ岳SA出発 → 7:00 菅の台バスセンター 7:15 出発→7:45 しらび平 8:10 ロープウェイ→8:20 千畳敷

8:30 千畳敷出発→9:30 宝剣山荘→10:00 宝剣岳山頂 →11:00 極楽平→14:30 檜尾岳→熊沢岳→東川岳→19:30 木曾御殿山荘(テント泊) (行動11時間)

・4月20日(日) 3:00 起床→6:00 出発 →8:10 空木岳山頂→道迷いにより、南駒ヶ岳に向かう尾根に入り込み、再度 10:20 空木岳山頂 →14:00～16:00 小地獄、大地獄通過→17:00 池山→19:30 登山口→21:00 菅の台バスセンター(行動15時間30分)

→ 帰神翌21日2:30

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

4月19日 熊沢岳、東川岳の岩稜地帯の雪壁のトラバースや登攀に時間が掛かったことにより、予定より1時間遅れて木曾御殿山荘に到着した。

4月20日 前日の疲労もあり、予定より1時間遅れて出発した。木付アウトと強風に悩まされ、8時頃空木岳山頂に着いたが、下山尾根を間違い、南駒ヶ岳に向かう尾根に入り込み、再度 10:20 空木岳山頂に戻り、正しいルートに復帰した。木付アウトが続き、その後もルート確保に時間を要した。大地獄の巻き方が難しく、雪壁のトラバースや雪壁下降を繰り返しながら無事通過(メンバーの実力から、今回の山行はノーザルで通した。)しかしその後もナイリッジ等の悪場が続き、また雪が腐ってきており、非常に時間を要した。

以上から予定行動時間を大幅にオーバーしてしまった。(下山連絡先には、19時頃、状況を携帯で連絡。菅の台バスセンターに着いた21時頃再度下山連絡をおこなった。)

b 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか 発生した場合は具体的に記す

- ・宝剣岳下山中にIがピッケルを落とす。回収出来なかったため、Oのバールで以降行動した。
- ・上記の通り、空木岳からの下山で道迷いとなった。強風かつ木付アウトの中、磁石とGPSで確認したが、確認が不十分であった。条件が悪いと、余裕がなくなり、ミスを起こす確

立が高くなる。まだまだ未熟であることを実感した。

- 大地獄で懸垂下降するかどうかで迷っていたとき、Oがヘルメスを落とした。悪場でのザックの荷物の出し入れに慎重さを欠いた。
- Oが氷化した池山尾根 H2100 あたりを通過している時、Aゼンが刺さらず転倒、とっさに岩にしがみつき滑落は避けられ、ことなきを得た。硬く氷化したところはAゼンを強く蹴りこまないと刺さらないが、今回は蹴り込み不足の状態であったため、スリップしてしまった。

C 山行の問題点、今回の教訓

- 今年5月のGWの小窓尾根山行に備えてのトレーニング山行であったが、雪壁の登攀、雪の処理、ルートファインディング、体力面で実践力ができて良かった。
- 今回の核心部は大地獄、小地獄の下降で、崖に囲まれ、上から見るとルートが分り難かったが、トレースが僅かにあったことと、メンバーの力量から、無事切り抜けられた。
- 想像以上に厳しい山行で、下山が遅れてしまった。計画段階の詰めが甘かったと反省しています。下山連絡先の三谷さんはじめ、皆様にご迷惑かけ申し訳ありませんでした。

(天候)

- 4月19日午前中快晴、午後からガスが出始め曇り。風は弱かった。
- 4月20日朝から強風かつ杳々アウト。終日続く。夕方からは雨。

(感想)

- 1泊の雪山で、これだけ長く、厳しい行程を、さらに杳々アウト等天候が悪い中、パーティ4人が団結し、色々アクシデントがあっても、登頂できたことは、意義が大きい。
- 井谷さん、大石さん、西さん ありがとうございます。

報告者氏名 大川 肇

平成26年4月21日

写真等は神戸労山HP ブログアップ予定。